

モンゴル

経済の概況

貿易赤字及び財政赤字の増加、一桁台のインフレ率、比較的安定した失業率や為替レートといった、近年のモンゴル経済に典型的であった特徴は2003年を通じて大きく変化することはなかった。その中で、比較的穏やかな気候に恵まれて農業生産は比較的順調であり、家畜数は1999年以降では初の増加を記録し2,530万頭に達した。

2003年の消費者物価上昇率は4.7%で、2002年より3.1%ポイント高い。2003年末時点の登録失業者数は34,900人で、前年比では増加したものの、過去数年間の変動範囲に収まっている。2003年末時点の為替レートは1ドル=1,168トグリクで、前年同時期より4.1%安くなっている。

2003年の国家財政赤字は、807億トグリクで前年比15.3%増である。主な要因は、債務利払い、投資的支出及び純貸付の増加である。一例を挙げると、政府が推進する「ミレニアム道路プロジェクト」に盛り込まれている各種事業などに関連して、道路基金からの支出が75.1%も増加した。

鉱工業生産は前年比2.0%増で、2002年に記録した増加率3.8%の約半分に過ぎない。鉱工業生産の半分強を占める主要産業である鉱業・採石業部門の生産が1.0%減少したことが足を引っ張った。また、繊維生産は前年比17.1%減であった。鉱工業従事者のうちのかなりの人数が繊維産業に従事していることから、雇用機会の減少が懸念される。繊維生産の減少は、WTOの「繊維及び繊維製品（衣類）に関する協定」が2004年末に失効することで、モンゴル製の繊維製品が享受していた優遇的な取扱を失う見通しとなっていることに関連している。2005年以降は、繊維・衣類の貿易ルールは全て通常のWTOルールに統合され、こ

れまで二国間で取り決めていた割当は撤廃される。現状では、米国及びEU市場におけるモンゴルからの輸入割当量は非常に大きく設定されており、事実上制限が無いに等しい状況なので、1990年代初頭から輸入割当の制約を受けるアジア各国の企業が積極的にモンゴルに投資して生産拠点を設けてきた。上記協定の失効が間近に迫る中、これらの企業の流出が始まっているものと見られる。

2003年の外国貿易高は、前年比14.2%増の13.9億ドルに達した。輸出は14.2%増、輸入が14.0%増であったが、貿易赤字は拡大し1990年以来最大の1.9億ドルとなった。モンゴルの主要輸出品である銅精鉱の輸出量は2.7%増であったが、国際市場での価格上昇のため、輸出額としては15.3%増となった。しかし、それでもなお貿易赤字が増加したということは、モンゴルとして高付加価値品を含めた輸出品目の多様化及び輸出先の多角化を図るなど、輸出振興に一層努力する必要があることを示唆している。

登録事業者データ

2003年11月からモンゴル国家統計局は、国内の地域別・分野別の登録事業者数及び従業員数のデータの公表を開始した。その最新データによると、2003年末現在、国内で登録されている経済活動主体数は3万1,500であり、その60.3%が首都ウランバートルに集中している。また、全体の84.4%が実際に経済活動を営んでいる。部門別では、「卸・小売及び自動車・家財修理業」が最も多く全体の42.4%、続いて「地域社会・個人向けサービス(10.7%)」、「製造業(8.5%)」などとなっている。規模別では、従業員数20名以下の中小企業が89.3%を占める。このように、中小企業が多い現状を鑑みると、経済発展のためには適切な中小企業支援・振興を実施することが必要であるといえる。(ERINA調査研究部客員研究員 エンクバヤル・シャグダル)

| | 1997年 | 1998年 | 1999年 | 2000年 | 2001年 | 2002年 | 03年1-11月 | 03年1-12月 | 04年1月 |
|-------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|---------|
| GDP成長率(対前年比:%) | 4.0 | 3.5 | 3.2 | 1.1 | 1.1 | 4.0 | - | - | - |
| 鉱工業生産額(前年同期比:%) | 4.4 | 3.2 | 1.3 | 2.4 | 11.8 | 3.8 | 1.1 | 2.0 | 0.9 |
| 消費者物価上昇率(対前年末比:%) | 20.5 | 6.0 | 10.0 | 8.1 | 11.2 | 1.6 | 3.5 | 4.7 | 1.5 |
| 国内鉄道貨物輸送(百万トンキロ) | 2,554.2 | 2,815.3 | 3,491.7 | 4,282.5 | 5,287.9 | 6,461.3 | 6,538.5 | 7,253.3 | 678.6 |
| 失業者(千人) | 63.7 | 49.8 | 39.8 | 38.6 | 40.3 | 30.9 | 35.0 | 33.3 | 34.9 |
| 対ドル為替レート(トグリク、期末) | 813.2 | 902.0 | 1,072.4 | 1,097.0 | 1,102.0 | 1,125.0 | 1,171.0 | 1,168.0 | 1,171.1 |
| 貿易収支(百万USドル) | 16.8 | 158.1 | 154.5 | 78.7 | 116.2 | 166.8 | 213.1 | 187.1 | 16.8 |
| 輸出(百万USドル) | 451.5 | 345.2 | 454.2 | 535.8 | 521.5 | 524.0 | 516.2 | 600.2 | 35.0 |
| 輸入(百万USドル) | 468.3 | 503.3 | 512.8 | 614.5 | 637.7 | 690.8 | 729.3 | 787.3 | 51.8 |
| 国家財政収支(十億トグリク) | 65.1 | 102.1 | 98.2 | 69.7 | 45.5 | 70.0 | 40.1 | 80.7 | 2.1 |
| 成畜死亡数(100万頭) | 0.6 | 0.7 | 0.8 | 3.5 | 4.7 | 2.9 | - | 1.3 | 0.0 |

(注) 失業者数は期末値。消費者物価上昇率は各年12月末、2003年は期末値。貨物輸送、財政収支は年初からの累積値。

1999年以降の貿易額は、非通貨資金取引額を含む。

(出所) モンゴル国家統計局「モンゴル統計年鑑2003」、「モンゴル統計月報」各月号 ほか